
意外な奴ほど馬が合う

素気味

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意外な奴ほど馬が合う

【Nコード】

N8809X

【作者名】

素気味

【あらすじ】

転校生が来た

自分とは合わなさそうな奴だった。 けど・・・

4月

4月6日、中2になった始業式。

髪の毛の長い奴が、やってきた。西野 修也というらしい。

引越して来て神奈川県からこの東京の学校に来たらしい

水野 卓はポケーと教室から見える電車を眺めていたので、それくらいしか聞いて無かった。

「これから西野君もみんなと学ぶことになる。みんな仲良くな
担任の新井が、紹介を済ませた。」

「それで席は……」

まるでドラマみたいに卓の隣になった。

水野は、あまり人付き合いが、よくない。友達も少々

いつも一緒に、いるのはテレビオタクの金井田 充だ。

「水野ー新井転校して4日目です、もうクラスの奴らとバスケし
てるぜ馴染むの早いな」

それと、あいつバスケめっちゃうまいらしいよ

「へー」

「あつ昨日のテレビみた？6ちゃんの」

「見てないな。お前テレビ好きだな」

「おまえも電車オタクだろ、ところで宿題やった？昨日の」

「いや、たらこスパゲッティ作ってたよ。」

「へーたらこスパゲッティかー」

こんな芸能マニアと電車オタクが仲良くなるのは共通点があった。

中1の博物館の遠足で弁当の時間がキツカケだった

同じグループである充が自分で作ったハンバーグを持ってきていた。

充は中華料理屋「ふくや」の息子だったのだ。

卓も自分で作ったからあげを見せた。お互いに共通の趣味があると

わかると会話が弾み
仲良くなるには時間が、あまりかからなかった。

チャイムが鳴った

2 時間目は国語だ

「水野君、今日も教科書見せて」

「いいよ」

「ありがとう」

西野は、まだこの学校の教科書がないらしい

「趣味は？何かある？」

さすがに、4 回も教科書見せてて何も会話が無いのはヤバいな

「趣味かーバスケットかな」

予想通りの答えだった

「後、料理かな」

予想外の答えだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8809x/>

意外な奴ほど馬が合う

2011年10月24日04時14分発行